

専門的な人材が 中小企業に力を

大きく変わる経営環境に対応するため、企業の人材ニーズが高まりつつある。特に求められるのは、生産現場の管理経験者やIT（情報技術）や財務などの専門分野をマネジメントできる人材だ。しかし中小企業がこうした人材を確保するのは容易ではない。公益財団法人ひょうご産業活性化センターのひょうご専門人材相談センターは、企業と人材を結び付けるサポート事業で成果を上げている。現場の担当者と、実際に同センターを利用して必要な人材を採用することができた企業のトップに語り合ってもらった。

下土井 プラスチック成型加工や電子関連部品を手掛ける明興産業では、2つの工場のトップ、つまり工場長2人を任命する必要が出てきました。社内体制の刷新や業務拡大に向けたものです。しかし、工場長は数十人の部下をマネジメントしながら、技術的な問題にも対応する高度なノウハウが要求されるポジションです。製造現場では人材不足が深刻になってお

り、社内には適任者はおらず、ハローワークに登録しても、求める人材は確保できませんでした。亀井 公益財団法人ひょうご産業活性化センターが昨年12月にスタートさせた、専門人材相談センターにお話があったのは、立ち上げ直後でした。センターでは約20社の人材サービス会社と連携しています。中小企業の人材ニーズ情報を提供し、各社から条件に合う

人材を紹介してもらおうという枠組みです。人材会社の間でも競争が発生するので、これほどいう人材を紹介してくれますし、企業情報が広く伝わるメリットもあります。明興産業さんの場合は多くの人材会社から複数の候補者が挙がり、3社を紹介して1カ月ほどで採用が決定しました。当センターとして最初の人材マッチング事例になりました。

下土井 人材会社との橋渡しし役不可欠

下土井 人材サービス会社は、中小企業にとっては利用しにくい面があります。どのような待遇を提示すれば納得できる人材が応じてくれるのかなど、きめ細かくアドバイスしてくれるわけではありません。人材センターでは、そうした点も含めて様々な相談にのってくれるので、安心感があります。採用後も新しい職場でうまくやっているかどうか、きちんとフォローしてくれており、当社の戦力としてがんばってくれています。

に目が向きがちで、知名度の低い中小企業を訪ねてくる余裕はありません。知らない会社への転職を勧めることに抵抗があるのは、仕方がないことでしょう。だからセンターが橋渡し役として、企業の実情や将来性について説明するのです。逆に人材会社が提供しているサービスの質についても厳しくチェックするので、中小企業には安心して利用してもらええると思います。

センター担当者と採用企業トップが語る



明興産業 代表取締役会長

下土井 康晴氏

ひょうご専門人材相談センター
戦略マネージャー

亀井 芳郎氏

経営支える仲間と10年仕事を

亀井 このところ中小企業の経営者には、人材不足に対する危機感が強まっています。若手の一般社員ならそれなりに補えるかもしれませんが、会社の屋台骨となる専門的なスキルと経営バランス感覚を持ったプロフェッショナルを一朝一夕で育てるのは困難です。特に職人の世界である技術職では顕著です。募集の窓口として利用しやすいハローワークでは、スキルや年齢の面などで企業のニーズと合わない面があります。

下土井 リタイア後に数年だけ働いてみたいという発想はどうでしょうか。会社の雰囲気になじんだり人間関係を築いたりするのには、半年以上はかかるでしょうから、入社後すぐ成果を求めることはありません。むしろ10〜20年のスパンで、一緒に夢を追う仲間が欲しいと思っています。年齢的には40〜50歳代が中心になるので、現在お勤めの会社も手放したくないということになりますね。

下土井 リタイア後に数年だけ働いてみたいという発想はどうでしょうか。会社の雰囲気になじんだり人間関係を築いたりするのには、半年以上はかかるでしょうから、入社後すぐ成果を求めることはありません。むしろ10〜20年のスパンで、一緒に夢を追う仲間が欲しいと思っています。年齢的には40〜50歳代が中心になるので、現在お勤めの会社も手放したくないということになりますね。

亀井 こうした情報を持っているのが人材会社です。組織に埋もれるなどして実力が発揮できず、新たなチャンスを求めて登録しているからです。ただし、人材会社も目線から付き合いがいいビジネスが成立しやすい大規模な企業

下土井 当社もそうですが、採用担当の人事をおく中小企業は少ないと思います。兼務ではPRをはじめとした採用活用にはかり注力できないので、情報の発信・収集をサポートしてもらええるのは助かります。今回は縁があり、良い人材を採用できました。亀井 本来無いであろうと考えていた、ハローワークと人材会社の機能では見落とされがちながらギャップを埋めることが、このセンターの存在意義です。すでに6社で実際のプロフェッショナル人材採用の実績があり、今後も企業の成長を積極的に後押ししていきます。

兵庫県プロフェッショナル人材戦略拠点
ひょうご専門人材相談センター
(公益財団法人ひょうご産業活性化センター内)

TEL: 078-200-5600
E-mail: h_jinzai@staff.hyogo-iic.ne.jp

広告

〈企画・制作〉
日本経済新聞社クロスメディア営業局